検討対象物質の概要

物質名	主な用途	生産·輸入量	管理濃度	産衛学会、ACGIH	その他
インジウム及びその化合物	(インジウム)銀ロウ、銀合金接点、ハンダ、低融点合金、液晶セル電極用、歯科用合金、防食アルミニウム、テレビカメラ、ゲルマニウム・トランジスター、光通信、太陽熱発電、電子部品、軸受金属、リン化インジウム結晶の原料(リン化インジウム)InP単結晶の原料(酸化インジウム)ITO用原料(三塩化インジウム)透明電極材料用原料(水酸化インジウム)酸化インジウム製造用原料、硝酸インジウム、硫酸インジウム製造用原料、電池電極材料	(インジウム) 生産量:70トン(2009年) 輸入量:215トン(2009年) リサイクル:543.6トン (2006年)	未設定	○ACGIH: 0.1mg/m3(イン ジウムとして)(1969年)	IARC(国際がん研究機関):リン化インジウムとして2A(ヒトに対しておそらく発がん性がある) 「インジウム・スズ酸化物等の取扱い作業による健康障害防止に関する技術指針」(平成22年12月)における実現可能なばく露低減対策の目標濃度として0.01mg/m3
エチルベンゼン	スチレン単量体の中間原料、有機合成、溶剤、希釈剤	排出・移動量:17,138 t (2009年度) 輸出量:2,198 t (2009年)	未設定		IARC:2B(ヒトに対する発がん性が 疑われる) ACGIH:A3(動物実験では発がん 性が確認されたがヒトの発がんとの 関連が未知の物質) 日本産業衛生学会:2B(ヒトに対し ておそらく発がん性がある物質で、 証拠が十分でない物質)
コバルト及びその 化合物	(コバルト) 磁性材料、特殊鋼、超硬工具、触媒 (塩化コバルト) 乾湿指示薬、陶磁器の着色剤、メッキ、触媒の製造、保健用医薬品、毒 ガスの吸着剤 (硫酸コバルト) コバルト塩の原料、蓄電池、メッキ、ペイント・インキの乾燥剤、陶磁 器の顔料、触媒	(コバルト) 生産量:1,332 t(2009年) (塩化コバルト) 生産量:情報なし (硫酸コバルト) 生産量:4,000t(2009年)	未設定		IARC: 金属コバルト(炭化タングステンと の合金を除く)及びコバルト化合物 については2B コバルトと炭化タングステンとの合 金については2A